



新年のごあいさつ

—ボランティアの皆様へ感謝—

事務 清水 浩

あけましておめでとうございます。穏やかなお正月を迎えられたことと存じます。

平成 19 年に新築したこの乳児院も 10 年目を迎えます。この 10 年の間、子どもたちが、より楽しく安全な生活を送ることができるよう、少しずつですが、設備を整えてきました。そして、今も、もっと楽しい乳児院にしようと、乳児院全体で努力しているところであります。

さて、話は少しかわりますが、赤十字とボランティアは切っても切れないほどの強い絆で結ばれています。そして、この乳児院も実に多くのボランティアに支えられています。渋谷区赤十字奉仕団の方々、子どもたちにとって常に清潔であってほしいおもちゃの消毒をしてくださいます。子どもたちの衣類をたたみ部屋別に整理してくださる方、保護者の方が面会に来られない子どもの食事介助やお散歩などで子どもと交流してくださる方、子どもたちに絵本を読み聞かせてくださる方などなど……。また、普段、動物と接する機会の少ない子どもたちと楽しく過ごしてくれるワンワンもりっぱなボランティアです。

この他にも、近隣の方々の協力や力が子どもたちの生活に潤いや温かさを提供してくれています。

新しい乳児院で 10 年目。この園たよりに通じて、厚く御礼を申し上げます。

今年も、職員がひとつになって子どもたちのために頑張っていきます。

「どの子も、どの子も、幸せになりますように……」

〒150-0012

東京都渋谷区広尾4丁目1番1号

TEL 03-3400-0147 (代) 03-3400-1311

<http://www.med.jrc.or.jp/nyuji-in/index.html>

理念

私たちは、「人道・博愛」の赤十字精神を行動の原点として、子どもの最善の利益を守り、心身ともに健やかに成長できる保育看護を提供します。

私たちは、家族に寄り添い、地域との連携をはかり、家庭復帰を支援します。



初詣

新年 1 月 4 日に渋谷の金王神社に初詣に行きました。良く晴れ風はあまりありませんでしたが、寒い日でした。障がいを持ち、体調を崩しやすく外出機会の少ない N ちゃんと A ちゃんですが、この日万全の体調でお出かけすることができました。バギーに乗って担当看護師が付き添っての外出です。

神社に到着すると、お参りする人達の長蛇の列でした。神社にはスロープがありましたが、スロープを利用すると、列の後ろに並ぶことができず、途中合流させてもらうのはずうずうしいかと気が引けて、列の最後に並び、バギーをかついで階段を上がりました。手伝いますよと声をかけてくださる方、N ちゃんの風貌に驚いた様子でジッと見る方と様々でした。障がいを持つお子さんを育てることは、こういう視線に慣れなければならないのだと感じました。ネット上では「ベビーカーで初詣に来ないように」との書き込みがあったようですが、N ちゃんと A くんは初詣に行けて楽しそうな表情でした。一緒に初詣に行けて良かったです。

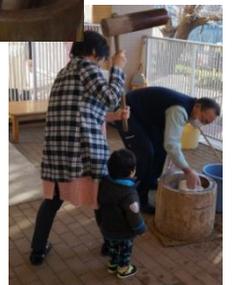
おもちつき

2 階の保育室にも、薪の燃える匂いが伝わってきました。

「そう、今日 1 月 11 日は、乳児院のお餅つきです。」毎年、小杉造園さんがして下さいます。庭に竈を作り、もち米を蒸して、ペタン・ペタンと。子ども用の小さな臼と杵も用意され、つきあがったお餅を、小さい臼に分けてもらい、保育者といっしょに杵を持って、子どもたちもお餅つきをする事が出来ました。

いつもは、小さなあんこ餅やきな粉餅にしてもらい、昼食に頂いていましたが、今年は感染症の問題もあり、のし餅にしてから、後日「あられ」に変身して、おやつで頂くことになりました。「手作りあられ」どんなお味がするのかな？楽しみに待っていますよね。

来る節分には、「憎き感染症も、もう来ないでね！！」とやっつけようね。



木製ベッドが来ました！

今年度、待望の木製ベッドが 15 台入りました。今までは、すべて病院のような金属製のベッドがずらりと並び、おもちゃなどを取り付けてもどこか冷たく、殺風景でした。しかも、ベッドの柵を上げ下げする度にガチャンガチャン。子どもがベッド柵につかまればガチャンガチャン。ようやく眠りについて金属音で目が覚めて…という状態もしばしば。今回木製ベッドが入ったことで、木のぬくもりを感じ、優しく温かみのある雰囲気となりました。木製ですが消毒液等で拭いても浸みこみはなく、ささくれ等の心配もないので、清潔で安心安全です。もちろん金属音は出ません。台数はまだ少ないですが、これから少しずつですが、子どもたちの周りが温かく優しいものに囲まれるようにしていきたいと思えます。

人形劇「三びきのやぎのがらがらどん」上演会

11月26日、ミツウロコグループ提供「劇団小さいお城」が乳児院にやってきました！本格的な舞台セットと照明にみんなドキドキ。時間になると緑色の帽子をかぶったお兄さんをご挨拶。劇が始まる前に“みんなとお友だちになりたい！”と、手遊び歌を歌ってくれました。歌の後はいよいよ開演！物語は『三びきのやぎのがらがらどん』。真っ白なやぎさんのお人形にみんなからも「可愛い！」と声が上がりました。その後シーンは変わってドキドキが高まり、ついにトロルが登場。あまりのリアルなお人形の作りに、泣いてしまう子もちらほら。その後段々に慣れていき、やぎさんがトロルに勝てるよう、みんなで一生懸命応援をしました。劇が終わると、お人形に実際に触れる時間も設けてくださいました。最初は恐る恐る、慣れてくると“いい子いい子”が出来るまでに、楽しんで触れていました。本格的な人形劇を観る機会は職員も中々無いので、子どもたちだけでなく、私たちもとても貴重な時間となりました。



ロタウイルス感染症（乳児嘔吐下痢症）って？



ロタウイルス感染症は、冬期に多発する、乳幼児の流行性嘔吐下痢症です。水様の便は白色からクリーム色で、酸っぱい独特の臭いがあります。

感染経路は、便中のウイルスによる経口感染です。汚染した手指を介しての感染と汚染されたベッド柵や持ち物から感染します。潜伏期間は2～3日間で、初発症状は、頻回の嘔吐です。発熱・鼻汁など感冒症状を伴うことがあります。下痢は1日に十数回にも及び、3～4日目をピークに7～8日で治癒します。この間、脱水症状を伴い、痙攣や腸重責を合併することもあります。

以前は、ロタウイルスによる、脱水症で入院する乳幼児が多くいましたが、現在では任意の予防接種で経口生ワクチンを、生後2か月から飲むため発症する乳幼児は少なくなりました。

罹った時の水分補給はミルクよりも母乳や赤ちゃん用のイオン飲料（補水液）を飲ませます。また、接触感染で感染が拡大します。ケアする人の経口から直接侵入し、ケアしている人の消化管に感染することを予防するため、嘔吐物や便に触れる時はマスクと手袋の着用を徹底します。寒い冬をいろいろな感染症に罹らず、快適に過ごしましょう。



楽しかったね！！

～いっぱい遊んだよ～

ハロウィン



運動会



感染症の流行で中止に。いっぱい練習したのにとっても残念。でも、運動会特製お弁当は、風邪に負けずみんなで美味しく食べました。



秋の遠足



アンパンマンミュージアム

キッズキャッスル三郷

横浜アンパンマンミュージアム、アクアパーク品川、上野動物公園、すみだ水族館、代々木公園などへ遠足に行きました。



メリークリスマス



編集後記

1月に入り、ぐっと寒くなってきました。インフルエンザなど、感染症が流行る時期です。手洗い、うがいをしっかりして健康管理に努めたいものです。